

# 社会資本整備審議会 道路分科会 第5回北海道地方小委員会

## 議事概要

1. 日 時 平成23年12月6日(火) 15時00分～16時10分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎10階 共用1・2号会議室

3. 出席者

[委員長]

加賀屋 誠一 北海道大学大学院 特任教授

[委員]

臼井 純子 (株)富士通総研エグゼクティブコンサルタント  
第一コンサルティング本部 PPP 担当理事

越澤 明 北海道大学大学院 教授

高向 巖 (社)北海道商工会議所連合会 会頭

平岡 祥孝 札幌大谷大学短期大学部 教授

古屋 温美 北海道大学大学院 特任准教授

山崎 幹根 北海道大学公共政策大学院 教授

4. 議 事

(1) 北海道横断自動車道(黒松内～余市)計画段階評価の試行について

### 【委員からの主な意見】

(別線整備を検討する区間の整備方針(案)について)

- ・案①と案②ではコストと時間にそれほど差が無いため、地域の利便性が大きく、また、アンケート調査で多数が期待している案①を優位とする事務局(案)は妥当と考える。

(政策目標(案)及び整備方針(案)について)

- ・政策目標及び整備方針は事務局(案)で了承。

(その他)

- ・多角的な多方面にわたる今回の検討手法が、今後のモデルとなっていけば良い。
- ・北海道の地域特性を考慮した議論ができた。
- ・委員会の進め方として、試行という中で、全体の流れは良かったが、今後は審議の回数も含め進め方を検討してよい。
- ・少子高齢化が進むことなどを考え、医療における救急車両の出入り口の設置など新しい視点は大事。
- ・函館からニセコや小樽を經由し、道東道に繋がるような、長い流れの新しい観光ルートが考えられる。
- ・海外においては連結位置(IC)周辺に商業が集積しているなどの付加価値があるが、北海道らしい連結位置(IC)周辺の活用が望まれる。

以 上